

令和2年6月8日

保護者 様

郡山市立郡山第二中学校長 原 真 児

感染防止に対するこれからの心構えについて

学校が再開されてから2週間が経ちました。また、本日より部活動も再開されることから、今まで以上に感染防止の対策や生徒自身の体調管理の在り方が求められてくるものと思われます。今後、長期間にわたり、生徒それぞれが学校内外において効果的に感染防止に努めていくためには、生徒自身の意識を高め、自主的な行動を促すことがより重要となるものと考えています。

つきましては、学校におきまして、以下のような内容について生徒に話をしていきたいと考えておりますので、ご家庭におきまして話題として取り上げていただければ幸いです。

記

感染防止に対する、生徒自身のこれからの心構えとして大切なこと

- 1 体調を整え、免疫力の低下を防ぐよう、自分で自分の体を管理する。
＜そのために必要な対策＞
 - (1) 日常において、規則正しい生活と十分な睡眠、バランスの良い食事を心がける。
 - (2) 天気や場所により気温の変化が激しくなる時期でもあるので、水分補給や服装等により自主的に体温調節を行い、熱中症や風邪の原因をつくらないようにする。
学校生活においては、夏用、冬用の運動着を準備し、自分の体調に合わせて脱ぎ着することや、のどの渇きに関わらず、定期的に水分補給を行うなど、自己管理ができるようにする。
 - (3) 体調があまりよくないときには、無理をせずに学校を休むなど、休養、回復を最優先に考えた行動をとる。
 - (4) ゲームやSNS、ユーチューブなどへの没入は、自分で自分の心にブレーキをかけないと防げないことを強く自覚する。
- 2 「新しい生活様式」の具体例をよく理解し、主体的に実践する。
＜そのために必要な対策＞
 - (1) 自分の油断が、家族をはじめたくさんの人に影響を与える結果になることを常に意識する。
 - (2) 感染防止対策が十分に行われていない施設等においても、自分で判断し、行動できるよう、日頃から具体的対策例について習得しておく。
 - (3) 学級、部活動、家庭など、それぞれの集団のメンバーがみんなで実践しようとする雰囲気をつくる。
 - (4) 感染防止策は万全ではないが、確実に感染確率を低減させることを理解する。
- 3 感染に対する不安の強さには個人差があることを理解して行動する。
＜そのために必要な対策＞
 - (1) 対外的な活動へ参加する場合には、家庭においてよく話し合ってから同意書を提出する。
 - (2) 個々の気持ちや事情には個人差があることをよく理解し、参加、不参加等の行動のみをとらえて中傷・意見するなどの行為は絶対に行わない。
 - (3) 悩み、不安などがある場合には、相談したい人を決め、早いうちに相談する。

◇ 平時とは違った状況の中、学校においても様々な場面において柔軟な対応が求められる時であります。困ったことなどについては遠慮なく教職員に質問するよう、お子様へのお声かけをお願いします。